



進路だより

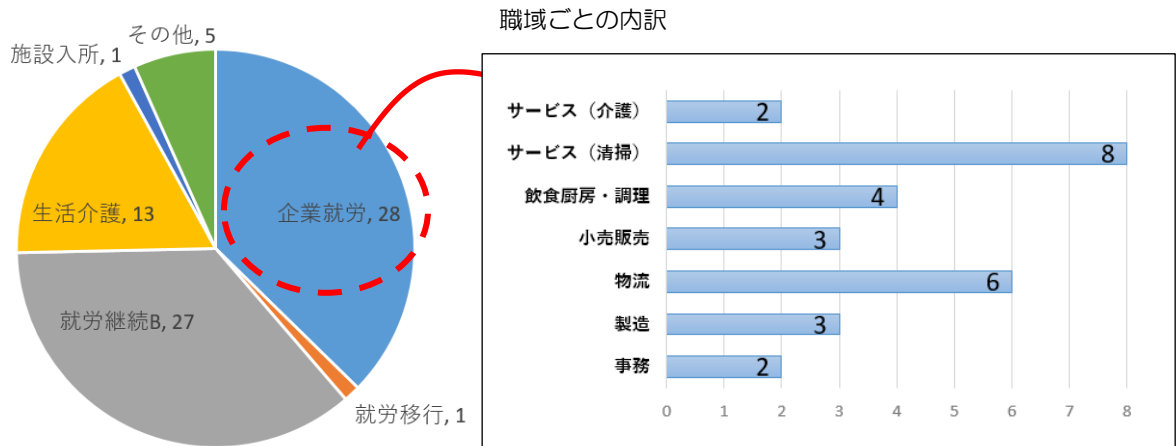
令和5年度 第5号

令和6年3月11日(月)
東京都立羽村特別支援学校
校長 外山 裕介
進路指導部

今年度高等部卒業生75名の進路

今年度の高等部3年生75名は3月18日(月)に卒業します。

企業就労は、履歴書作成や採用選考の面接などを経て、今年度は28名の生徒が企業から内定をいただきました。職種の決定については、今までの実習した経験から自分にできることは何かを考え、自分にできることで働きたい会社を自己決定していきました。自分の進路先を決めることに関しては、悩む生徒も多く、その都度担任や進路の教員との話し合いを行うように心がけました。4月からは、求められる仕事に向き合いながら成長して行ってほしいと願っています。



※令和6年3月4日時点

通所福祉サービス利用は、見学や実習を通してその中から本人の希望や実習の様子、実際に利用した場合のご家庭の御都合などを兼ね合わせて、進路先として決定していきました。福祉サービス利用をする場合には、市や町の障害福祉課や相談支援事業所、進路先となる事業所とやり取りをしながら進める手続きが多く、学校、保護者の方、との連携がとても重要でした。4月から通所が始まりますが、笑顔でより一層成長していってくれることを願っています。

最後にこれまで保護者の皆様には様々な御心配をお掛けしながらも本校の進路指導に御協力いただき、本当にありがとうございました。4月から新しい環境での生活がスタートします。新しい環境でのスタートは、不安なことや心配なことがたくさんあると思いますが、お子さんが進路先で何か困った時、辛い様子の時には、そばで見ている保護者の皆様が人生の先輩として支援やアドバイスをいただければ幸いです。また、私達教員にも相談していただければと思います。

小学部6年生

～用務員さんのお仕事を知ろう！～

小学部6年生を対象に、校内の用務員さんをゲスト講師に迎え、業務の内容を知り、見学・体験する学習を実施しました。はじめに用務員さんの普段の業務の様子をVTRで見て、学校を綺麗に保つために必要な様々な仕事を行っていることを知りました。その後、掃除機、モップがけの体験とゴミ捨て場での作業の見学をしました。掃除機、モップがけ体験では、児童は用務員さんから作業のコツを聞き、よく意識して熱心に取り組んでいました。また、ゴミ捨て場では、分別の大切さなどについて話を聞きました。



中学部に上がると少しずつ就労を見据えた活動が入ってきます。今回の学習をきっかけに、様々な職業に興味をもてるようになるといいと考えています。

尚、小学部5年生では、学校栄養士をゲストに迎えた同様の学習を実施しています。

中学部2年生

中学部2年生では2月の5週を通して進路に関する学習を行いました。

2/15には羽村市リサイクルセンターへ職場見学に行き、資源ごみの選別や粗大ごみの破碎などの作業を見せていただきました。特に粗大ごみの自転車が大きな機械で粉々に碎かれる様子は貴重で、皆興味をもっていました。質疑応答の時間には生徒から5つの質問をさせていただき、仕事中の服装や、気を付けていること、やりがい等について丁寧に教えていただきました。



最終週には高等部進路担当教員による出張講義を設けました。「働く」「暮らす」「楽しむ」「学ぶ」の4つの窓についての具体的な話を、生徒たちは真剣なまなざしで聞いていました。卒業後の生活について考えはじめのきっかけとなりました。

2/20(火)羽村セミナー(保護者学習会)

2/20(火) 11:00~体育館で今年度第3回目の羽村セミナーを行いました。全校保護者会に引き続き会場には30名ほどの保護者の方が参加していただき、オンラインでも28名の方が参加してくださいました。皆様お忙しい中本当にありがとうございました。

会では、青梅市の合同会社はんずにて、相談支援・グループホーム・短期入所や移動サービスまで獅子奮迅の御活躍をされている三平葉子さんをお招きして「地域の今とこれから」という題でお話を伺いました。

まずは、右の資料にもあるように相談支援専門員の役割は、②の計画相談が中心であると思っていましたが、どんな福祉サービスが必要なのかを一緒に考えるには、①のいろいろな困りごとを聞くことが三平さんの大切にされていることとお話を聞きました。ただ「サービス等利用計画(児童の場合は障害児支援利用計画)」を書いてもらうのではなく、これまでの生活履歴や生活上の困難さなどを相談支援専門員の方によく聞いていただいて、一緒に必要な支援サービスを考えてもらうことが大切であることを強く感じました。

また、将来の暮らしの中にはグループホームでの生活や余暇を楽しんだり関係性を広げていくようなことも大切であることをお話いただきました。

地域やグループホーム利用者の方々にとって、暮らしの場と通所先だけの往復になってしまいがちなところを、余暇の場をつくりことで、個々の関係性を広げていくことを意図しているとのことでした。

最後には、三平さんから以下のような大切な希望が語られました。

相談支援専門員のしごと

① 困りごとの よろず相談	② サービスを 入れるための 相談	③ サービスを 作るための 相談
(基本相談)	(計画相談)	(地域づくり)

地域での余暇生活の広がりももっと



←グループホームの入居者向けに
日曜日のアート工開催

★絵を描くだけでなく、グループ
ホーム内の狭い関係性を広げるた
めの取り組み

地域で当事者が帰属できる余暇の
場をもっと増やせていけたら

保護者があちこちで支援者(理解者)をさがしまわるのではなく、支援チームがひとつのうねりを作ってみんなを巻き込む
人生を布に例えると
児童発達支援、保育園、学校や各サービスは横糸
保護者や家族、親戚、相談支援、地域の人々が縦糸
包む面が大きいほど、当事者は豊かで守られた世界が作れるのではないか

障害(児)者福祉に深く携わる人に出会えるといつもとっても勇気づけられます。参加された保護者の皆さんもきっと勇気づけられる時間となったのではないのでしょうか。

高等部2年 先輩の話を聞く会

2月22日(木)に「先輩の話を聞く会」を行いました。講師は令和3年度と令和4年度に卒業した2名の先輩です。1名は清掃、もう1名は事務のお仕事をしています。つい最近まで、同じ高校生だった先輩方に、過去と現在の違いを比較しながらお話を伺いました。

具体的な話の内容としては、高校生の頃に考えていたこと(不安や悩みも)から、なぜ今の職場に決めたのか、何が決めてとなったのか、働くうえで必要なこと、喜びややりがいなど、今まさに高2の皆さんが知りたいと思っている内容でした。一番目を輝かせていたのは、初めてもらったお給料で何に使ったのか、最近買ったものは?といったお金に関する話題でした。自分で稼いだお金で好きなものを買うことに憧れがあることがとてもよくわかりました。



【求められる力】		【求められる力】
【学校で求められる力】		【社会で求められる力】
1、休まず出席する力	➡	1、出勤し続ける力(体調管理)
2、時間通り登校する力	➡	2、時間通りに出勤する力
3、いろいろな性格の友達と過ごす力	➡	3、様々な社員と仕事に取り組む力
4、授業の時間を守る力	➡	4、時間や期限通りに仕事を行う力
5、学校の校則を守る力	➡	5、就業規則を守る力
6、先生の言うことを聞いて動く力	➡	6、上司の指示を聞いて動く力
7、クラス内での自分の役割を果たす力	➡	7、担当部署での自分の役割を果たす力
8、先生や友達に挨拶をする力	➡	8、社員やお客様に挨拶をする力
9、自主的に行動する力	➡	9、指示待ちではなく、進んで行動する力
10、こまっている友達をフォローをする力	➡	10、後輩や同僚のフォローをする力

会のまとめで、先輩から「学校生活で学んでいることは、社会に出た時に必ず役にたっている」という言葉が出てきました。例えば、休まず時間通りに登校することは、遅刻をせずに出勤し続ける

力(体調管理)に繋がります。学校のルールを守ることは、会社の就業規則を守る力になります。学校で日常的に学んでいることが、社会に出た時の力になっていることを先輩の言葉から改めて確認することができました。

先輩のお二人も高2の生徒の皆さんもそれぞれが自分の将来について考え、学んだ良い機会になりました。皆さんの1年後2年後がとても楽しみです。

〈卒業される高3の生徒の皆様、保護者の皆様〉

御卒業おめでとうございます。素敵な優しい笑顔の生徒さんたちばかりでした。卒業後も羽村特別支援学校は皆さんの大切な学校です。相談があれば相談の電話をしてください。うれしいことがあれば、夕方に顔を見せにきてください。だんだんと知っている顔の先生は少なくなっていくでしょう。でも皆さんの大切な学校です。応援し続けています。本人講座(4月以降に学校ホームページから)を申し込んで遊びにも来てください。

(進路指導部教員一同より)